

全国では毎日約3,000人の患者さんが輸血を受けられています

あなたの「献血」が患者さんの“いのち”を救います

～皆様の献血に感謝～

憧れの中学校に入学して間もない春のことです。新入生歓迎遠足で高熱を出し、病院を受診。血液検査の結果、「急性リンパ性白血病」と診断を受けました。治療は、12歳の私の想像をはるかに超えた壮絶なものでした。あまりの辛さに、心が潰れてしまいそうになる日もありましたが、血液が病室に届けられ、輸血を受けるたびに、私は体力を回復し、強く励まされたことを鮮明に覚えています。血液を分けてくださった方に直接お礼を伝えることはできませんが、今でも深く感謝しています。恩返しの気持ちを込めて、大学入学後に献血推進ボランティアサークルを結成し、現在も継続して活動を行っています。輸血で多くの方々からいただいた命を大切に生きていくとともに、今後も献血の大切さを広く伝えていきたいと思っています。(広島市・30代女性)

どうして400mL献血が必要なの？

医療機関からの要請の95%以上を占めているからです。400mL献血は200mL献血に比べ、同量の輸血でも2分の1の人数でまかなえるため、輸血による副作用(発熱、発疹等)発生のリスクを軽減することができます。

主な献血基準

献血の種類	400mL献血
年齢	男性：17歳～69歳 [※] /女性：18歳～69歳 [※] <small>※65歳以上の方の献血については、献血される方の健康を考え60歳～64歳の間に献血経験がある方に限ります。</small>
体重	男女とも50kg以上
献血間隔	男性：12週間以上 女性：16週間以上
年間総献血量 (過去12ヶ月以内)	男性：1,200mL以内 女性：800mL以内



以下に該当する方は献血をご遠慮いただきます。

- ① 献血当日を含めた3日以内に歯科治療(抜歯・歯石除去等)を受けた方
 - ② 4週間以内に海外から帰国(入国)した方
 - ③ 1ヶ月以内にピアスの穴をあけた方
 - ④ エイズ検査が目的の方
 - ⑤ 6ヶ月以内に下記に該当する方
 - (a) 不特定の異性または新たな異性との性的接触があった
 - (b) 男性どうしの性的接触があった
 - (c) 麻薬、覚せい剤を使用した
 - (d) 上記(a)～(c)に該当する人と性的接触をもった
 - ⑥ 今までに下記に該当する方
 - (a) 輸血(自己血を除く)や臓器の提供を受けた
 - (b) ヒト由来プラセンタ注射薬を使用した
 - (c) 梅毒、C型肝炎、マラリア、シャーガス病にかかった
- ※ 上記以外でも献血をお断りさせていただく場合があります。
当センターもしくは当日の職員・検診医にご相談ください。

お知らせ

- ♥ 平成25年4月より降圧剤の規制が緩和され、2種類以上の服薬でもお願いできるようになりました。
- ♥ 献血受付の際に、運転免許証や健康保険証等ご自身を証明できるものの掲示をお願いしています。
- ♥ 献血後、希望される方には血液生化学検査・血球計数検査通知サービスを実施しています。
- ♥ 献血していただいた血液は、輸血を受けられる方の安全のために感染症予防のための検査を実施し、不適と判断された場合は使用されません。

献血ルームのご案内

広島市 献血ルーム「ピース」
FREE 0800-2009-150

広島市 献血ルーム「もみじ」
0120-634-150